

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 ユニバーサル公演事業」
出演希望調書 No.1 (共通)

制作団体名	公益財団法人現代人形劇センター
公演団体名	デフ・パペットシアター・ひとみ

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	該当	種目
【音楽】		合唱, オークストラ等, 音楽劇, その他
【演劇】	○	児童劇, 演劇, ミュージカル, ノンバーバル, その他 (人形劇)
【舞踊】		バレエ, 現代舞踊, その他
【伝統芸能】		歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸, その他
【美術】		洋画, 日本画, 版画, 彫刻, 書, 写真, その他
【メディア芸術】		映像, メディアアート等, その他

取り組み (該当する取り組みに○を付してください。)

該当	取り組み
○	①障がいを持ったアーティストが活躍する取り組み
○	②字幕や音声ガイド等を設置するだけでなく、障がいを持った子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み

応募する取り組みが①である場合、アーティストが抱える障がいの種類

聴覚障害

※採択を受けた場合、実施へ向けた調整に当たり、参考とさせていただきます。

応募する区分 (該当する区分に○を付してください。)

該当	区分
○	《D区分》公演をメインプログラムとする企画
	《E区分》ワークショップを中心とする企画 ※ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間等 (原則として令和5年6月1日(木)～令和6年1月31日(水)まで)

可能期間	令和5年11月29日(水)～令和5年12月22日(金) 令和6年1月23日(火)～令和6年1月31日(水)
連日公演の可否	○可 / 不可

実施可能地域(実施可能な地域名の前に○を付してください。)

該当	地域	都道府県
○	限定なし	
	北海道	北海道
	東北	青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島
	南関東	埼玉, 千葉, 東京, 神奈川
	北関東・甲信	茨城, 栃木, 群馬, 山梨, 長野
	北陸	新潟, 富山, 石川, 福井
	東海	岐阜, 静岡, 愛知, 三重
	近畿	滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山
	中国	鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口
	四国	徳島, 香川, 愛媛, 高知
	九州	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄

団体の概要

【制作団体について】

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんげんだいになんぎょうげき		
	公益財団法人現代人形劇センター		
代表者職・氏名	理事長・塚田千恵美		
制作団体所在地	〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田 3-10-31		
制作団体 設立年月	1969年 4月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事: 塚田千恵美 業務執行理事: 松澤文子 理事: 大杉豊、小川信夫、 平野英俊、北条秀衛、 築瀬恵子 監事: 桑野雄一郎	理事: 7名 評議員: 7名 監事: 1名 職員: 10名	
事務体制の担当	専任 ・ 他(の)業務と兼任	Web サイト等 URL	http://www.puppet.or.jp/
本事業担当者	池内剛志	本件連絡先	044-777-2228 ikeuchi@puppet.or.jp
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	菅原真弓

【公演団体について】

ふりがな 公演団体名	デフ・パペットシアター・ひとみ
代表者職・氏名	代表・榎本トオル
Web サイト等 URL	http://deaf.puppet.or.jp/
特別支援学校等 における活動実 績や障がいを持 ったアーティスト の活動を広げる 公演等の活動実 績	<p> デフ・パペットシアター・ひとみは耳のきこえないひと(ろう者)ときこえるひと(聴者)が一緒に活動をしている専門人形劇団です。 1980年の立上げ以来、ろう者と聴者、違いを持つ者どうしが互いの感性を活かしあう、新しい人形表現を探求しています。 また、耳の聞こえや世代を問わず幅広いお客様に楽しんでもらえる人形劇の創作、および多様なお客様が一堂に会することのできる観劇空間の創出にも取り組んでいます。 </p> <p> ①特別支援学校での活動実績 2011年度 28校で公演、ワークショップ 2012年度 15校で公演、ワークショップ 2013年度 3校で公演、ワークショップ 2014年度 6校で公演、ワークショップ 2015年度 14校で公演、ワークショップ 2016年度 4校で公演、ワークショップ 2017年度 16校で公演、ワークショップ 2018年度 15校で公演、ワークショップ 2019年度 13校で公演、ワークショップ 2020年度 1校で公演、ワークショップ 2021年度 4校で公演、ワークショップ 2022年度 10校で公演、ワークショップ ＊ろう学校またはろう者の児童が中心の支援学校を含みます。 </p> <p> 特別支援学校のなかでも、ろう学校での公演・ワークショップが特に多くなっています。 そのほか特別支援学校や特別支援学級等の知的障害や身体障害を持つ子どもたちを対象と対象とする場合もあります。言語に頼らない人形劇表現の強みを活かし、対象となる子供たちに合わせて柔軟に対応しながら公演やワークショップをしています。 </p> <p> ②障がいをもったアーティストの活動を広げる公演等の活動実績 1980年の結成以来40年以上、耳の聞こえないろう者と聞こえる聴者が一緒に活動しています。ここ10年間では、文化庁「巡回公演事業」の委託を受けて、例年10校ほどの学校で公演をしているほか、全国各地の実行委員会が主催する上演もしています。 実行委員会の主催公演では約650地域での実績があり、ろう者がプロとして表現活動をしていることを全国各地で発信しています。 また①でも触れたように、ろう学校での公演やワークショップも広く実施することで、ろう者が聴者と協働して表現活動に取り組んでいるロールモデルのひとつとしても認知されています。 </p>

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 ユニバーサル公演事業」出演希望調書 No.2

《D 区分》公演をメインプログラムとする企画用

【制作団体 公益財団法人現代人形劇センター】

企画名	デフ・パペットシアター・ひとみ『河の童』	
主な対象学年	小学校中学年～高校生	
児童・生徒の鑑賞・体験可能人数の目安	ワークショップ	30人程度
	本公演	200人
企画の動画等の資料	URL(ダイジェスト動画) https://www.youtube.com/watch?v=xmj62D-l2PU	PW なし

公演について

主な演目	「河の童」(かわのわっぱ)		
原作/作曲 脚本 演出/振付等	原作/火野葦平「河童曼陀羅」 演出・脚本/立山ひろみ 作曲/佐藤望 人形美術/本川東洋子 振付/向雲太郎		
	公演時間(80分)		
著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="checkbox"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演目概要



あらすじ:

河童はのんびりくらしています。井戸の中で、こいやげんごろう、かになんかと一緒に、ゆったり、ゆらゆら。水はきらきら輝いて、足りないものはなにもなくて。そんな河童のことを、にんげんたちはあまり良く思っていないようです。だから河童の方も、なるべく会わないようにしています。でもにんげんの小さいの、こどもと遊ぶのは大好きなので、たまに相手をしてやります。あるとき、村に雨が降らなくなりました。にんげんたちは、それを河童のたたりだと考えて――。河童とこどもたち、おとなになったにんげんたちをめぐる物語。

作品詳細:

2018年初演。ろう者の視覚的な感性・表現を多く取り入れた人形劇作品です。劇中ではほとんど台詞を使わず、一部台詞のある箇所では手話を併用します。台詞が少ないかわりに、身体表現、人形表現、幽玄かつ重厚な舞台美術が非言語的な感性に訴えかけます。耳のきこえを問わないことはもちろん、説明的な筋立てが苦手な方や、お芝居を通じて非日常的な世界を体感したい方にも、幅広くお楽しみいただけます。劇中に描かれる大人たちは河童と対話することなく、偏見に基づいたひとり相撲を繰り返し、思いもよらぬ結末を招きます。ひとりよがりにより他者を規定することの怖さや危うさは、現代社会を生きる我々にも無縁なものではありません。声高に「共生」が謳われる現代、自分と他者が同じひとつの社会を生きてゆくことについて、改めて考えるきっかけとなる作品です。 (作品ポスター画像を別添)

公演従事予定者の編成 (1公演あたり)	出演者:6名 照明スタッフ:1名 運搬トラック運転手:1名					
公演に当たり 必要な会場条件	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台の設置場所 (教室 ・ 体育館) ・舞台に必要な広さ 間口 12m 以上 奥行 6m 以上 高さ 3.6m 以上 ・電源容量(主幹ブレーカー容量) 35A ・暗転の要否(要) ・ 不要) ・その他 完全暗転が必須というものではありませんが、照明効果を高めるために暗幕等を使用したいです。 					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の 目安	前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(3.5 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8 時	8 時～11 時 30 分	13 時～14 時 20 分	0 分	15 時～17 時 30 分	18 時
	※開演時刻によっては、前日仕込みが必要になる場合があります。					
派遣について	移動方法の制約等					
	運搬規模		4tトラック 1 台			

ワークショップについて

ワークショップ	(内容) 『あやかし』をつくってみよう／うごかしてみよう ※公演の前日までに 1 回(90 分)、および可能であれば当日にもリハーサルを実施。 新聞紙や色模造紙、端切れなど柔らかい素材で「あやかし」をつくり・操演します。一般に知られる妖怪のイメージに縛られず、自由に造形します。創作の過程で偶然に生まれた形や動きも取り入れていけば、思いもよらない「あやかし」が生まれます。 人形劇「河の童」の一場面では、子どもたちが自作の「あやかし」を手に登場し、思い思いの方法で命を吹き込み、演じます。
	(体制) 主指導者 1 名、補助者 5 名の 6 名体制で行います。 主指導者が主に作品の概要や「あやかし」の作り方・遣い方を説明し、それを踏まえてワークショップに取り組む生徒達がのびのびと製作・操演できるよう、補助者がサポートします。
	(目的とする効果) 「河の童」に登場する河童は石や草や枝をモチーフとしたもので、それらを組み合わせたとような造形をしています。ここにある世界観、モノに生命感が見出される(ふきこまれる)という感覚を、子どもたち自らが体験することで、作品への理解を深めることができます。 また、劇中で子どもたちが身近な素材でできた「あやかし」を持って登場することで、操演する子どもたち、それを見ている子どもたち双方にとって、作品世界がより身近なものとして体感されます。

企画全体について

<p>企画のねらい</p>	<p>デフ・パペットシアター・ひとみでは、ろう者と聴者が一緒に人形劇を創作・上演しています。申請作品「河の童」は音声言語、手話言語の使用を最小限に抑えた演出により、耳の聞こえや学習レベルの差を問わず、多様な特性を持つ子どもたちが直感的に楽しむことができます。一方で、河童と人間とのドラマを通じ、自分ではない誰かと共に生きてゆくことについて思いを寄せられる作品でもあります。鑑賞後、劇中の出来事について子どもたちが意見を出しあい、お互いが見たもの、考えたことを共有することで、より深い学びに繋がります。</p>
<p>特別支援学校等での実施における工夫等</p>	<p>申請作品では可能な限り、多様な子どもたちが同じだけの情報を受け取れるように工夫されています。せりふをほとんど使わない演出は、耳の聞こえや学習レベルの差を問わず、多様な特性を持つ子どもたちが直感的に楽しむことができます。</p> <p>また、作品世界に親しむための事前ワークショップでは、ひとつの完成形を提示するのではなく、子どもたちそれぞれの自由な造形、操演を可能にします。これにより「出来が良い／悪い」「うまい／へた」といった一元的な評価は無効化され、子どもたちがのびのびとワークショップに取り組みことができます。</p> <p>また、各校ごとに事前のヒアリングを重ね、どういった障害を持つ子どもがいるかを把握したうえで、ワークショップの進め方、劇中に登場してもらう方法、観劇時の環境づくりなどについて十分な配慮をします。</p>
<p>取り組み②(P. 1【募集する取り組み】を参照)で応募する場合、特に重点的に取り組んできた課題(具体的な障がいの種類も記入すること)</p>	<p>デフ・パペットシアター・ひとみは、聴覚障害を持つ子どもたちがきこえる子どもたちと同じように楽しめる人形劇の上演に、重点的に取り組んできました。音声のせりふに手話を併用したり、音楽の雰囲気伝えるために舞台上での生演奏を取り入れたりしています。このように音の情報を視覚的に表現(翻訳)する方法に加えて、創作のすべての段階でろう者が関わることで、その視覚的な感性から生みだされる身体表現など、もともと非・聴覚的な要素も大切にしています。こうした創作姿勢が、決して聴覚障害のみならず、様々な障害や世代をこえて受け取ることのできる普遍的な表現に繋がってきました。</p>
<p>協力・連携機関及び団体内における専門員の配置等</p>	<p>公演実施団体の中には手話に堪能な聴者が含まれ、ろう者とのコミュニケーションに対応することができます。また、特別支援学校での上演・ワークショップ経験の豊かな劇団員が複数在籍しているため、多様な子どもたちへの配慮、対応も可能です。</p> <p>その上で、障害等のカテゴリーに囚われず、実際にどのような子どもたちが居るのか、細やかに把握し対応するためには、各学校の先生方との情報共有が大切だと考えます。</p>

人形劇

河の童

デフ・パペットシアター・ひとみ
第14回全国公演作品

かわのわっぱ

この世界は、あなたには
どう見えていますか？

脚本・演出

立山ひろみ

原作 火野葦平「河童曼陀羅」 国書刊行会

人形美術 本川東洋子 舞台美術・衣装デザイン 大島広子

作曲 佐藤望 振付 向雲太郎



ろう者と聴者が共につくる
デフ・パペットシアター・ひとみ
DEAF PUPPET THEATER HITOMI

【令和5年度文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－実施条件等確認書①】

ID	UNI-11	分野 (大項目)	演劇	分野 (中項目)	人形劇	区分	D区分
公演団体名	デフ・パペットシアター・ひとみ			制作団体名	公益財団法人現代人形劇センター		

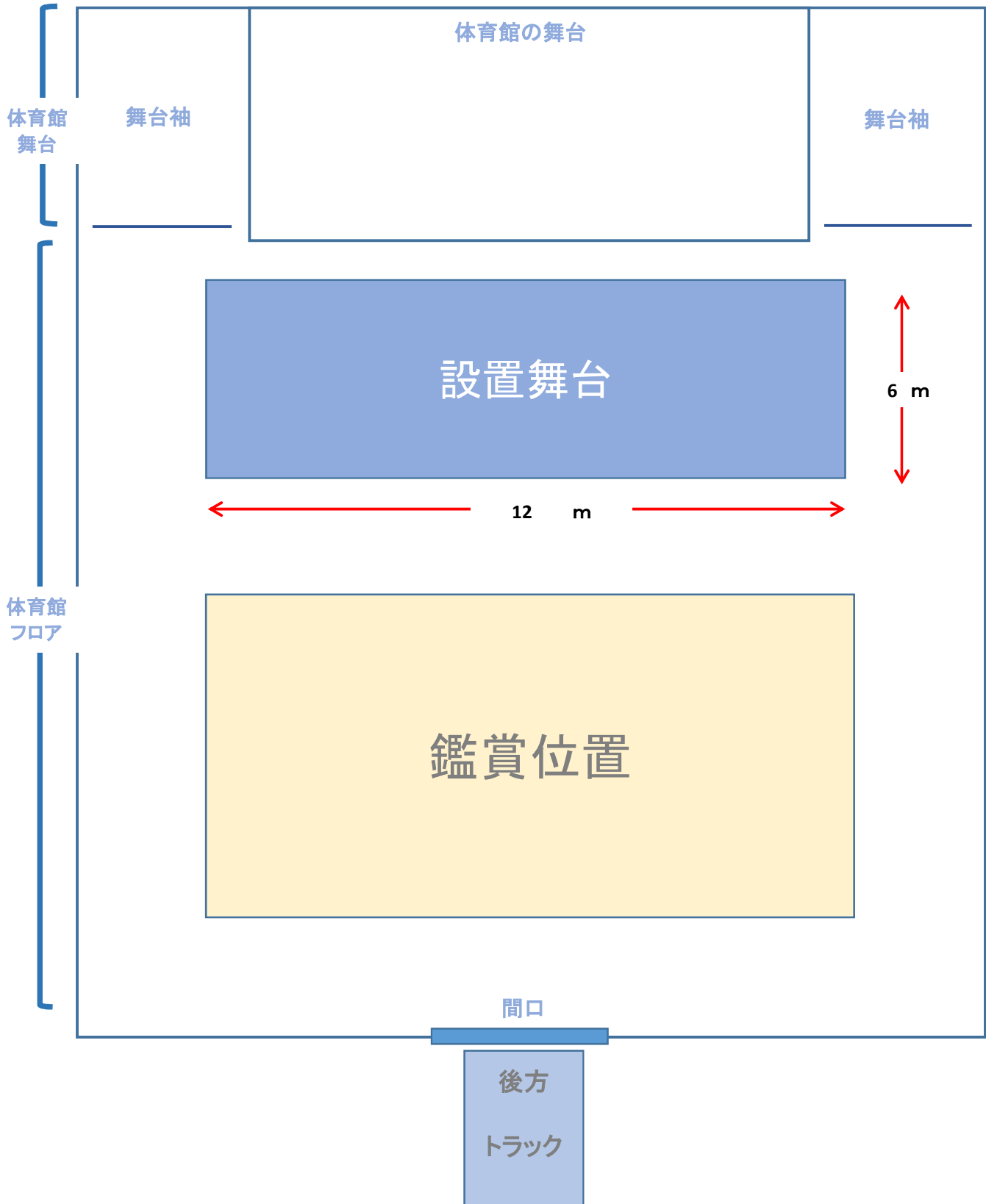
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	1室	条件		8名が休憩できるスペースがありますと有難いです。			可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *		4tトラック	1台	バン	1台		不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細								
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		4tトラック(幅2.2m 長さ8.8m 高さ3.6m)					可	
	搬入車両の横づけの要否 *		要					可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *		50m					可	
	搬入経路の最低条件		・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。					可	
	理由		・大道具の搬入のため。 ・楽器、人形など水濡れに弱いものを搬入するため						
	設置階の制限 *		エレベーターの無い場合は2階まで					可	
搬入間口について 単位:メートル		幅	1m		高さ	1.8m		可	
WSについて	参加可能人数	35人						可	
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *	小学生	中学年			可	
	所要時間の目安 単位:分	90分						可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。						
	鑑賞可能人数		200人					可	
	舞台設置場所 *		フロア					可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	12	奥行	6	高さ	3.6	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *		要					可
		舞台袖スペースの条件 *							可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要			可
	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	照明効果のため				可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			可
		ピアノの事前調律 *		不要					可
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		舞台設置エリアに降りていないこと				可	
	公演に必要な電源容量		35A		※主幹電源の必要容量			不可	
その他特記事項							応相談		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		50m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



UNI-11	公益財団法人現代人形劇センター	前日仕込みの有無	あり
D区分	デフ・パペットシアター・ひとみ	演劇	

6月1日	木	
6月2日	金	
6月3日	土	
6月4日	日	
6月5日	月	
6月6日	火	
6月7日	水	
6月8日	木	
6月9日	金	
6月10日	土	
6月11日	日	
6月12日	月	
6月13日	火	
6月14日	水	
6月15日	木	
6月16日	金	
6月17日	土	
6月18日	日	
6月19日	月	
6月20日	火	
6月21日	水	
6月22日	木	
6月23日	金	
6月24日	土	
6月25日	日	
6月26日	月	
6月27日	火	
6月28日	水	
6月29日	木	
6月30日	金	
7月1日	土	
7月2日	日	
7月3日	月	
7月4日	火	
7月5日	水	
7月6日	木	
7月7日	金	
7月8日	土	
7月9日	日	
7月10日	月	
7月11日	火	
7月12日	水	
7月13日	木	
7月14日	金	
7月15日	土	
7月16日	日	
7月17日	海の日	
7月18日	火	
7月19日	水	
7月20日	木	
7月21日	金	
7月22日	土	
7月23日	日	
7月24日	月	
7月25日	火	
7月26日	水	
7月27日	木	
7月28日	金	
7月29日	土	
7月30日	日	
7月31日	月	

8月1日	火	
8月2日	水	
8月3日	木	
8月4日	金	
8月5日	土	
8月6日	日	
8月7日	月	
8月8日	火	
8月9日	水	
8月10日	木	
8月11日	山の日	
8月12日	土	
8月13日	日	
8月14日	月	
8月15日	火	
8月16日	水	
8月17日	木	
8月18日	金	
8月19日	土	
8月20日	日	
8月21日	月	
8月22日	火	
8月23日	水	
8月24日	木	
8月25日	金	
8月26日	土	
8月27日	日	
8月28日	月	
8月29日	火	
8月30日	水	
8月31日	木	
9月1日	金	
9月2日	土	
9月3日	日	
9月4日	月	
9月5日	火	
9月6日	水	
9月7日	木	
9月8日	金	
9月9日	土	
9月10日	日	
9月11日	月	
9月12日	火	
9月13日	水	
9月14日	木	
9月15日	金	
9月16日	土	
9月17日	日	
9月18日	敬老の日	
9月19日	火	
9月20日	水	
9月21日	木	
9月22日	金	
9月23日	秋分の日	
9月24日	日	
9月25日	月	
9月26日	火	
9月27日	水	
9月28日	木	
9月29日	金	
9月30日	土	

10月1日	日	
10月2日	月	
10月3日	火	
10月4日	水	
10月5日	木	
10月6日	金	
10月7日	土	
10月8日	日	
10月9日	スポーツの日	
10月10日	火	
10月11日	水	
10月12日	木	
10月13日	金	
10月14日	土	
10月15日	日	
10月16日	月	
10月17日	火	
10月18日	水	
10月19日	木	
10月20日	金	
10月21日	土	
10月22日	日	
10月23日	月	
10月24日	火	
10月25日	水	
10月26日	木	
10月27日	金	
10月28日	土	
10月29日	日	
10月30日	月	
10月31日	火	
11月1日	水	
11月2日	木	
11月3日	文化の日	
11月4日	土	
11月5日	日	
11月6日	月	
11月7日	火	
11月8日	水	
11月9日	木	
11月10日	金	
11月11日	土	
11月12日	日	
11月13日	月	
11月14日	火	
11月15日	水	
11月16日	木	
11月17日	金	
11月18日	土	
11月19日	日	
11月20日	月	
11月21日	火	
11月22日	水	
11月23日	勤労感謝の日	
11月24日	金	
11月25日	土	
11月26日	日	
11月27日	月	
11月28日	火	
11月29日	水	●
11月30日	木	●

12月1日	金	
12月2日	土	
12月3日	日	
12月4日	月	○
12月5日	火	○
12月6日	水	○
12月7日	木	●
12月8日	金	
12月9日	土	
12月10日	日	
12月11日	月	○
12月12日	火	○
12月13日	水	○
12月14日	木	○
12月15日	金	○
12月16日	土	
12月17日	日	
12月18日	月	○
12月19日	火	○
12月20日	水	○
12月21日	木	○
12月22日	金	○
12月23日	土	
12月24日	日	
12月25日	月	
12月26日	火	
12月27日	水	
12月28日	木	
12月29日	金	
12月30日	土	
12月31日	日	
1月1日	元日	
1月2日	火	
1月3日	水	
1月4日	木	
1月5日	金	
1月6日	土	
1月7日	日	
1月8日	成人の日	
1月9日	火	
1月10日	水	
1月11日	木	
1月12日	金	
1月13日	土	
1月14日	日	
1月15日	月	
1月16日	火	
1月17日	水	
1月18日	木	
1月19日	金	
1月20日	土	
1月21日	日	
1月22日	月	
1月23日	火	●
1月24日	水	○
1月25日	木	○
1月26日	金	○
1月27日	土	
1月28日	日	
1月29日	月	○
1月30日	火	○
1月31日	水	○